

「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」 における秋田県からの御放流台の譲受について

令和2年秋に本県で開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」の稚魚の記念放流行事で使用する『御放流台』について、下記のとおり今年度開催の秋田県からお譲りいただくこととなりましたので、お知らせします。

記

1 お譲りいただく御放流台

今年9月7日、8日に開催された「第39回全国豊かな海づくり大会～あきた大会～」の稚魚の記念放流行事において、天皇・皇后両陛下に御放流いただくために秋田杉で製作された「御放流台」で、秋田杉の中でも一級品の材のみを厳選し、木目の美しさや加工技術の高さを誇る逸品です。



2 経緯と本県での活用について

9月8日の午後の実施予定でありました両陛下による御放流は、台風15号の影響で行われませんでした。御放流台は秋田県の関係者の皆様が一体となって製作したものであり、両陛下による御放流を実現したかったとの強い思いを伺ってきました。

こうした「秋田県の思い」や、式典の冒頭で大会会長である大島衆議院議長の挨拶の中に「今大会と次の大会を通し、東北の元気な姿を発信したい」とのお言葉もあり、来年の宮城大会での御放流台の活用について、村井知事と佐竹秋田県知事の意向が一致したことから、これまで調整を進めてきたものです。

今後は、宮城県において「秋田県の思い」を受け継ぐとともに、「東北の繋がり」や「復興支援への感謝と絆」など我が県としての思いを込めながら、大切に保管のうえ、来年の宮城大会において活用したいと考えています。